

カテゴリー：インプラント, 歯周治療, 歯内治療, 補綴治療, 矯正治療, その他 (いずれか一つお選びください)

Key word : 歯周治療

咬合を視野に入れた再生療法

飯田歯科クリニック 飯田克実

初診日： H27 6

治療終了日： H28 4

主 訴： 上顎左右大白歯部の鈍痛

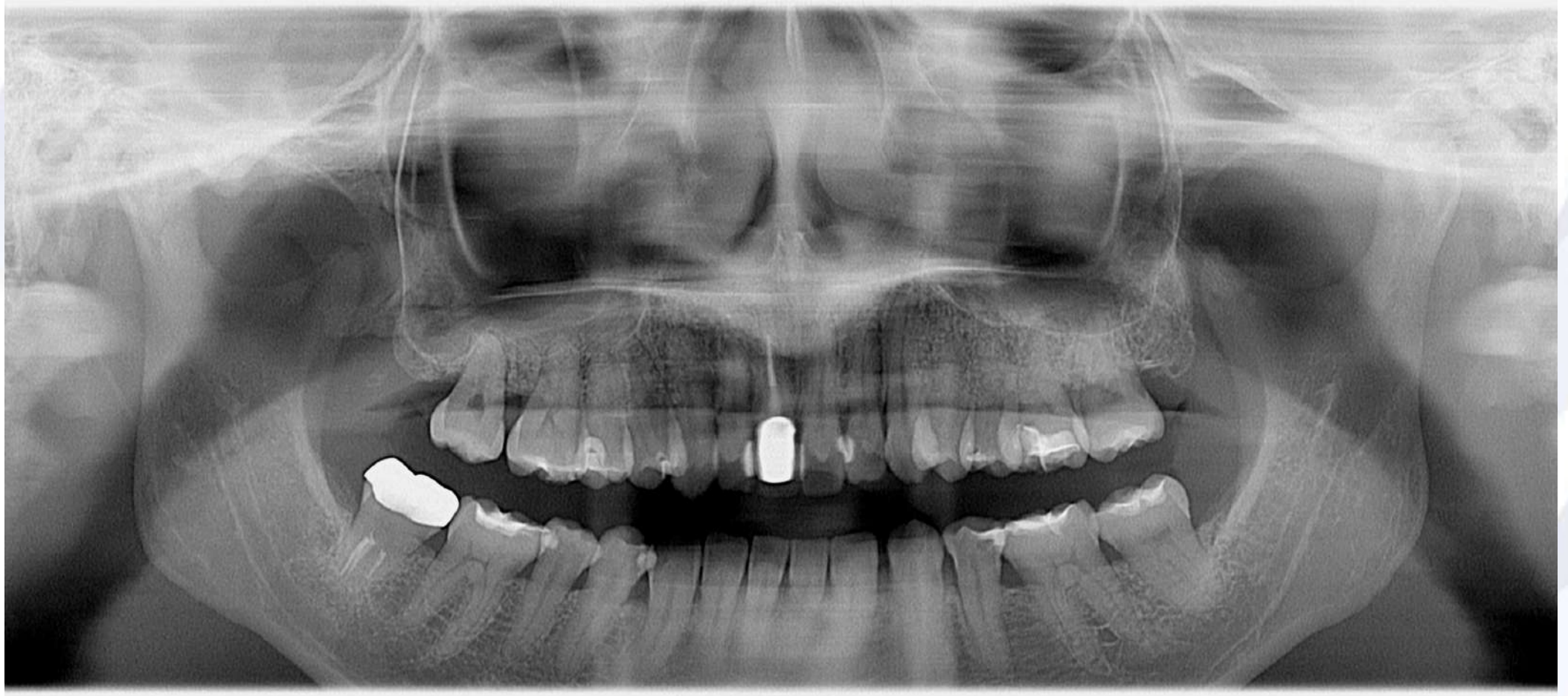
治療方針： 骨の欠損への再生療法と原因の除去

診 断： 局所的な骨の欠損が見られることから、原因を咬合に重点を置く

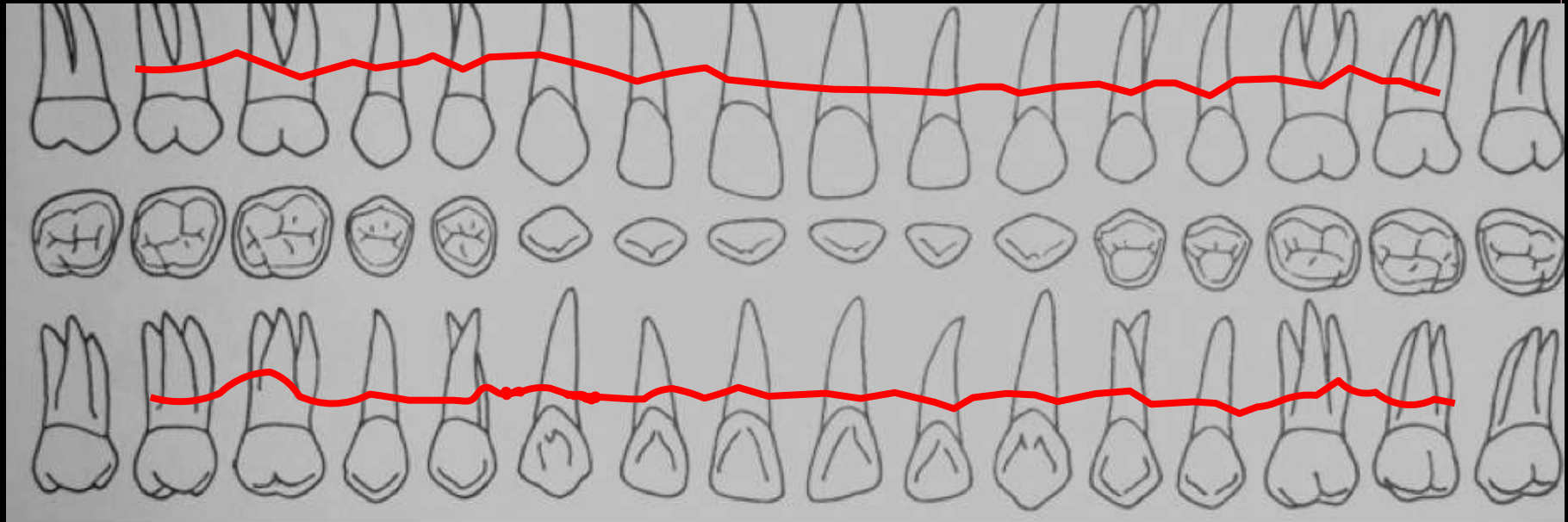
特記事項： #16 26 辺縁歯肉より排膿 有り





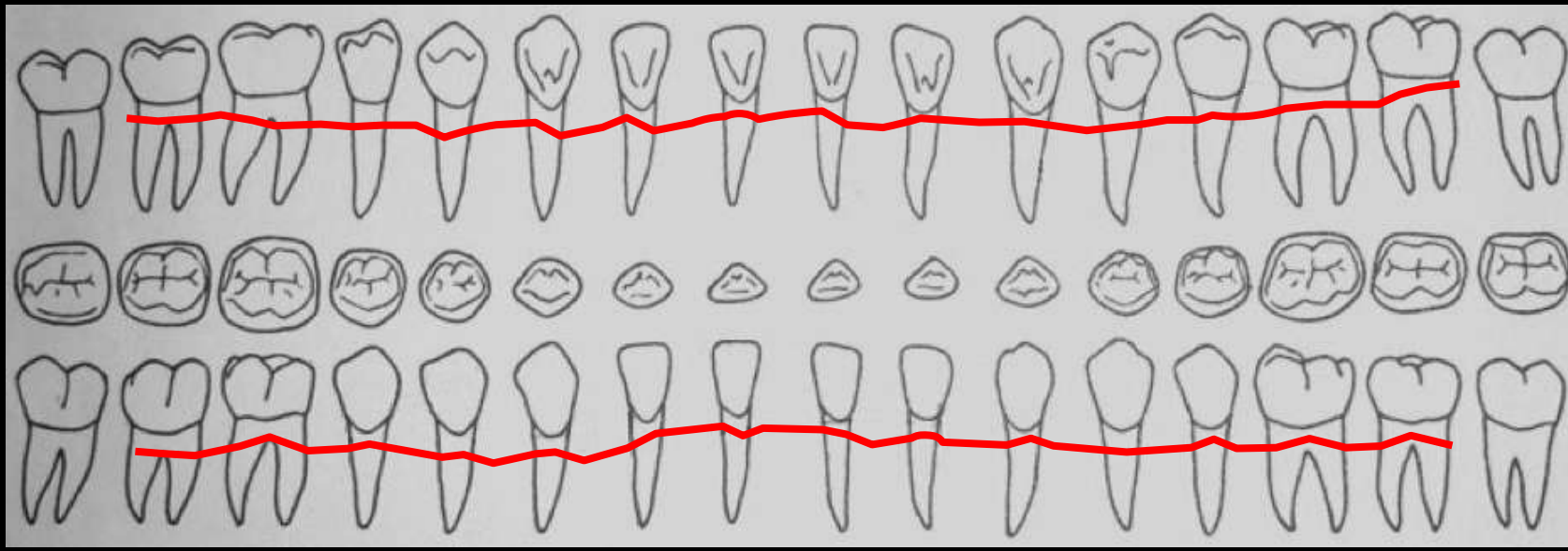


Mobility		I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	II	I	
P.D		324	763	423	426	423	322	322	222	223	323	424	324	437	553	
Furca.		I	II	I	I	I	II					I	I	I	I	



Furca.			I	I	I	I								I	I	I	I		
P.D			334	723	323	326	423	223	323	323	323	323	433	324	436	333			

P.D		333	334	334	333	323	323	323	323	322	323		423	434	433	
Furca.																



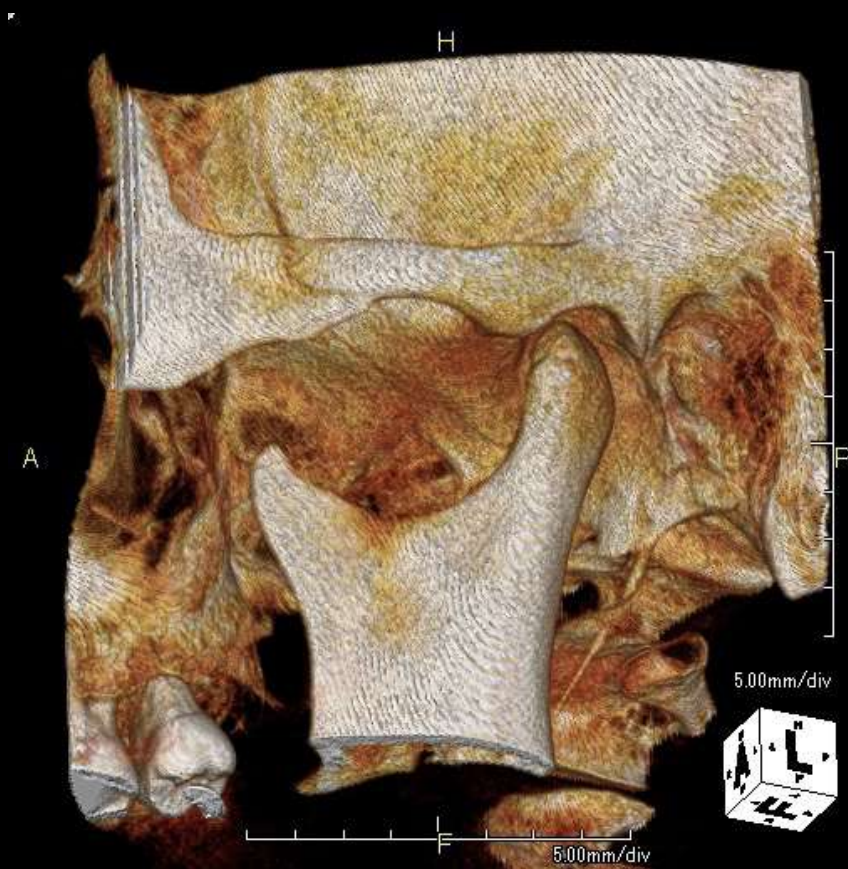
Furca.																
P.D		333	323	323	423	323	322	222	223	323	322		323	323	323	
Mobility																

- A. 1. 大きな口が開けづらいですか はい いいえ
 2. 顎がガクガクして引っかかることがありますか はい いいえ
 3. 大きな口を開け過ぎて、閉じられなくなったことがありますか はい いいえ
 4. 口を開けたり閉じたりする時に音がしますか はい いいえ
 5. 食後、顎がだるくなりますか はい いいえ
 6. 固い物をかんだり、大きく口を開けた時に痛みがありますか はい いいえ
 7. 耳の奥や、耳の前のあたりが痛む時がありますか はい いいえ
 8. 時々頭痛に悩まされますか はい いいえ
 9. 顔、顎、喉、こめかみ、頸部に何か症状がありますか はい いいえ
 10. 痛い歯がありますか はい いいえ
- B. 1. あなたは以上の痛みで眠れないことがありますか はい いいえ
 2. 心配事、不安、不満、神経を使う仕事などによって
 それらの痛みはひどくなりますか はい いいえ
 3. それらの痛みは日常生活の支障となっていますか はい いいえ
 4. 何か鎮痛剤を服用していますか はい いいえ
 5. 何か精神安定剤を服用していますか はい いいえ
- C. 1. 誰かに歯ぎしりをすると言われたことがありますか はい いいえ
 2. かみしめ癖がありますか はい いいえ
 3. 朝起きた時に下記の症状がありますか
 a. 顎のこわばりを感じる時がありますか はい いいえ
 b. 顎、または歯の痛み はい いいえ
 c. 顎のガクガクという感じ、あるいはひっかかって
 開かないと感じる時がありますか はい いいえ
 d. 頭痛 はい いいえ
 4. 大きな肉をかんだ後など、顎がだるくなりますか はい いいえ
 5. 右か左、片側のみで物をかんでいますか はい いいえ
- D. 1. 頸部、肩、背中などの痛みやこりがありますか はい いいえ
 2. むち打ち症になったことがありますか はい いいえ
 3. 神経性胃炎、あるいは胃潰瘍などの経験はありますか はい いいえ
 4. 下痢、または便秘によくなりますか はい いいえ
 5. 関節炎、リュウマチなどの病気になっていますか はい いいえ

- E. 1. 最近忙しくて疲れることや、心配事がありましたか はい いいえ
 2. そのために眠れなかったり、眠りが浅かったりしましたか はい いいえ
 3. 内科、またはその他の病気で、薬を飲んでいますか はい いいえ
 それは何の薬ですか ()
 4. 精神安定剤や睡眠薬、等を飲んでいますか 安定剤・睡眠薬 いいえ
 5. 心臓の病気をしたことがありますか はい いいえ
 6. 最近、息苦しいとか、胃の上の辺りが痛かったり苦しかったりしましたか
 はい いいえ
 7. 最近、むち打ちとか、寝ちがひ、首の打撲など、首や肩を痛めた経験はありますか
 はい いいえ
 8. うつ伏せ、または横向きで寝ていますか うつ伏せ・横向き いいえ
 9. よく肘杖をついたりしますか はい いいえ
 10. 仕事などで長い間、同じ姿勢でいることが多いですか はい いいえ
 11. 寒い所に長く居たり、部屋の冷房がききすぎていたりしていませんか はい いいえ
 12. 歯ぎしりをしていますか はい いいえ
 13. 仕事や日常生活の中で、歯を食いしばっていることがよくありますか はい いいえ
 14. 何か楽器を演奏したり、よく歌を歌ったりしますか はい いいえ
 楽器 ()・歌

L-close

L-open



R-close

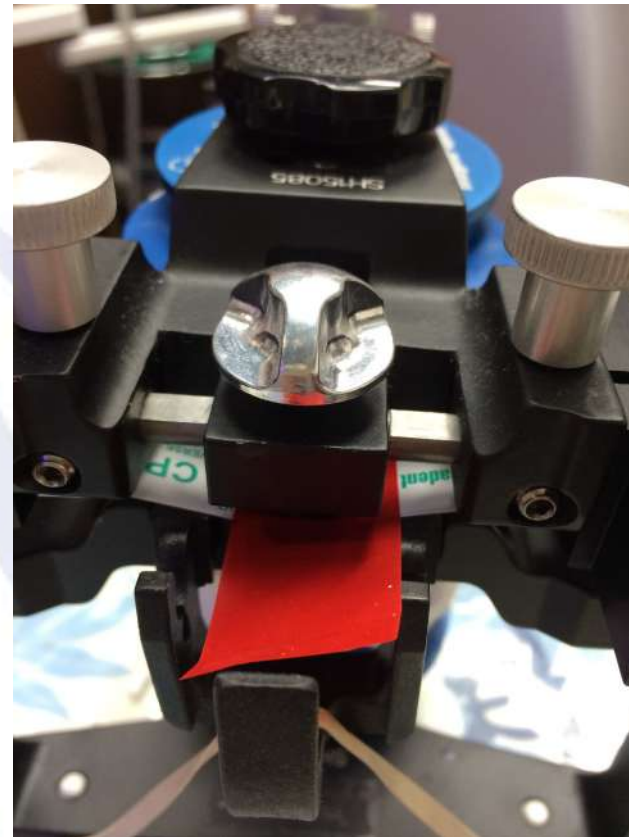
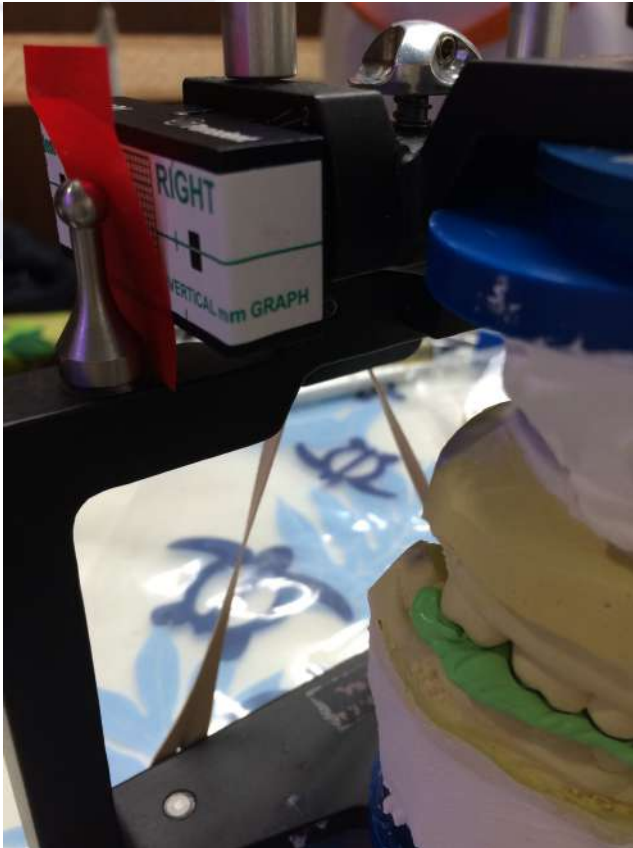


R-open

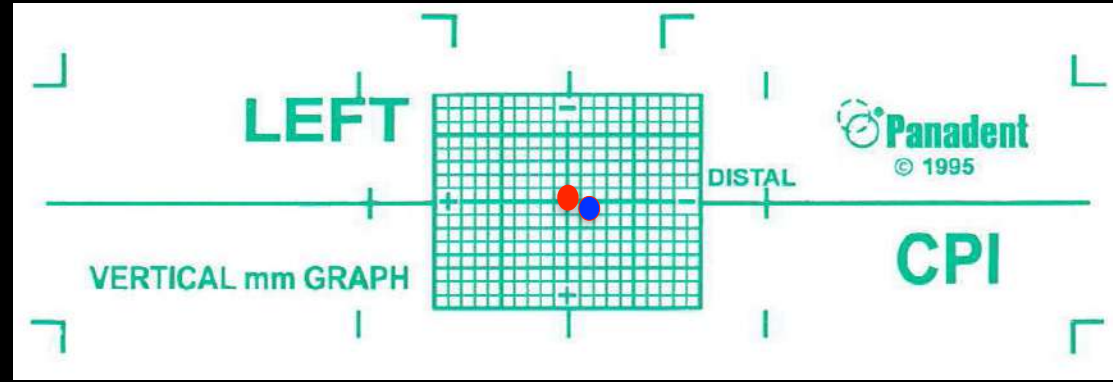
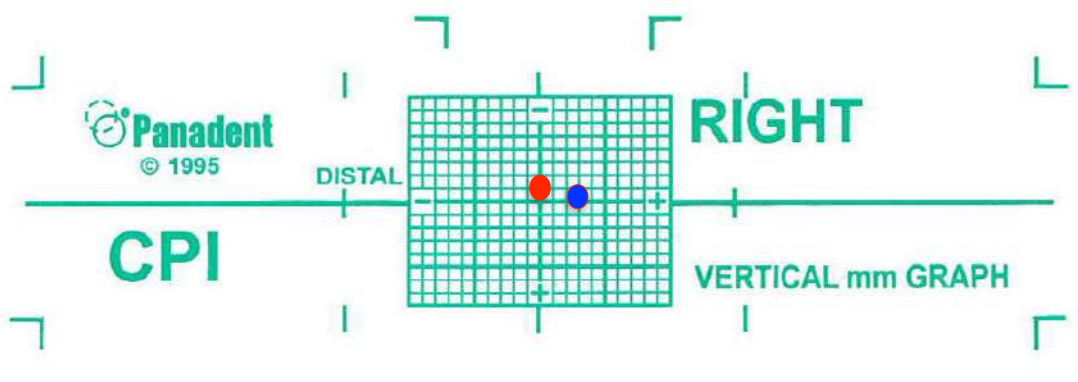


（ 右側顎関節 正常像では見られない骨隆起の存在から
咬合に要注意していくことが確認できた ）

Pandament CPI System



Panadent CPI System

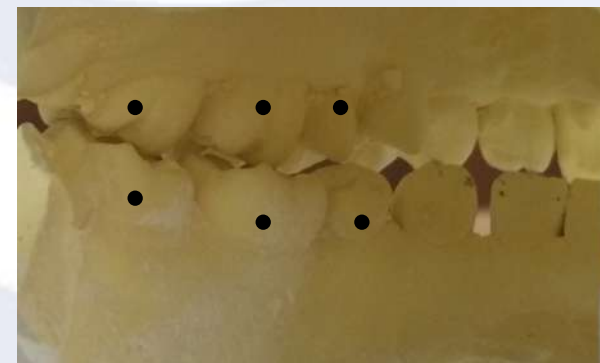


Panadent
Colton, CA 92324
REF 9611
Panadent © 1995
LEFT SHIFT mm RIGHT SHIFT mm
CPI
ANTERIOR EDGE
TRANSVERSE mm GRAPH

This block contains the main product information card for the Panadent CPI system. It features the Panadent logo and name at the top, followed by the address 'Colton, CA 92324' and the reference number 'REF 9611' in a large box. Below this, there is a smaller diagram of the transverse mm graph with the Panadent logo and copyright information.

CR≠ICP

- 早期接触



CRバイトにおいてプロテクションプリントを作成

治療概要 # 16 再生療法



咬合面



頬側面



Bio-Oss®



mdogain



補填



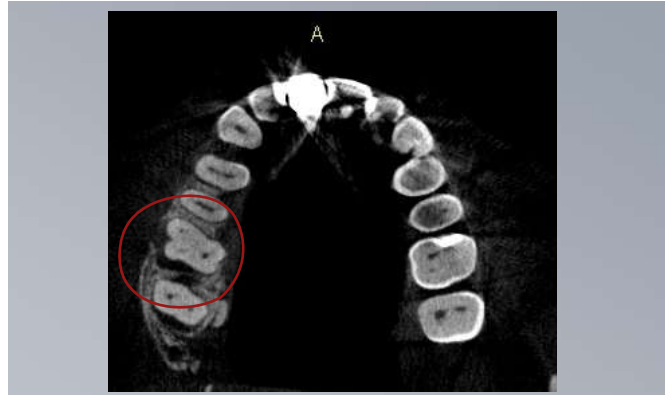
縫合



治療概要



#16 術前 volume rendering



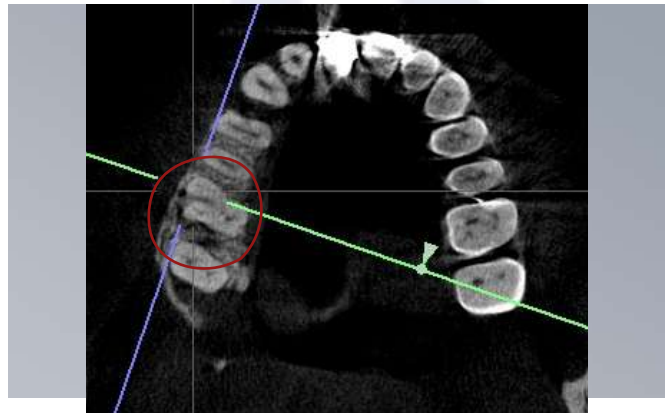
axial 断面



coronal 断面



#16 術後 volume rendering



axial 断面



coronal 断面

治療概要 # 14 再生療法 M-MIST



骨欠損



Bio-Oss®



mdogain



Bio-Oss®

mdogain



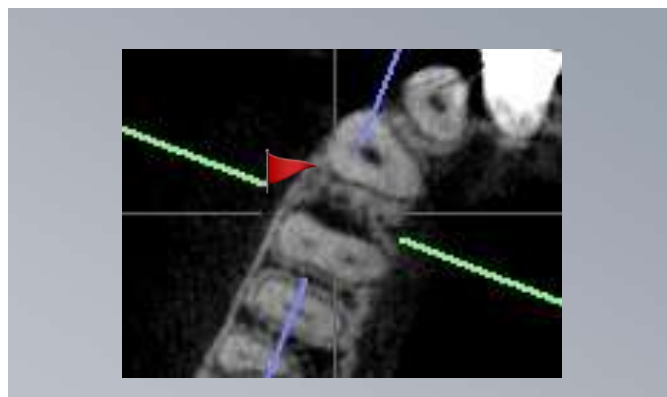
縫合



治療概要 #16 再生療法 術前 術後



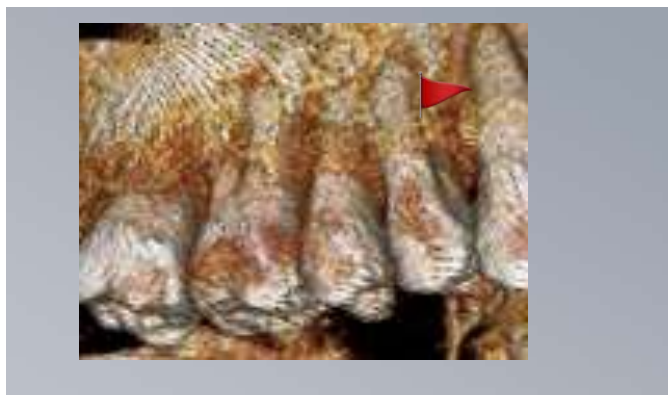
#14 術前 volume rendering



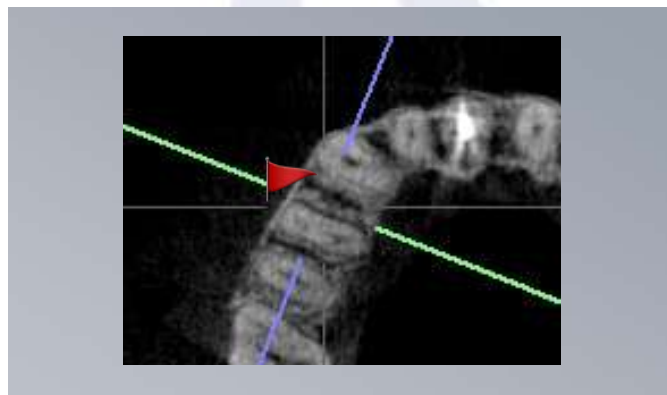
axial 断面



sagittal断面



#14 術後 volume rendering



axial 断面



sagittal断面

最終補綴物装着時もしくは、動的治療終了時

術後 2 ヶ月 #14 16



治療概要



舌の筋力 弛緩



左側頬粘膜 圧痕

右側頬粘膜 圧痕



担当矯正医の診断の結果 1)矯正による咬合再構成の効果が低い 2)舌を含む口周辺の筋力の低さ などを考慮し矯正治療は断念。

咬合による原因解決として口腔周囲筋筋力増強メソッドを取り入れた。



初診時

口腔周囲筋筋力増強メソッド 8日目



まとめ：

今回 再生療法に伴い、何故 骨欠損が発生してしまったかの原因究明 解決へと深く掘り下げた。
術前 術後の骨の状態の把握、骨の欠損が咬合原因とみられる顎関節解剖学的形態の把握にCTを、
咬合に関しては、Panadentの咬合器によるCPI Systemを活用した。

1症例目に関して、当初はMISTで再生療法の予定であったが、頬側にイメージを超えた骨欠損が存在していたために、縦切開を施し Minimally invasive という概念からはかけ離れてしまった。しかし結果的には再生療法が良好と判断したが、術前の骨の欠損状態の把握をしっかりと行うことと、その上で 自分にとってのMinimally invasive の可能性を高めるためのスキルアップを考える。

2症例目は 細部にわたり欠落する術式が見受けられるが、M-MISTにより骨が再生したと考える。

原因解決に咬合の改善と考えたが、積極的な矯正治療に踏み込むことが困難であった。

その代わりに、舌を含めた口腔周囲筋の筋力増強を図ることより 開始8日目にして ほうれい線の消失 顎のラインがシャープになり、初診時の動画において、CR バイトによる模型診断と一致する下顎が閉口時の左側への偏位が無くなり、COとCRの一致かのようなスムーズな顎運動が確認できた。

矯正治療をせずにこの結果が長期において維持できるのであれば患者としても、治療費 矯正装置などの負担が避けられることが示唆できる。

今後も定期的に顎運動の動画、CRバイトの採得、CPI System、許可をいただける範囲においてCTを撮影し、再生療法の再介入を回避できることを念頭におきたいと考えている。